

編輯局報情

# 週報

昭和十九年六月十七日  
第三種郵便物認可  
毎週一冊

## 動く大陸新戦局

六月十七日 號  
新通常服の制定  
戦時農園問答〔4〕

## 虚實、米英ソ外交戦

398號

五錢



情 報 局 編 輯

# 週 報

昭和十九年六月十七日 第三種郵便物認可 毎週一頁

## 動く大陸新戦局

六月十七日 新通常服の制定  
戦時農園問答〔4〕

## 虚実、米英ソ外交戦

398 號

五錢

# 週言

大切なところは窓口である。窓口の中にある人は、外に立つ人の気分にかされやすい。亂暴な言葉遣ひをされたり、無理を言はれたり、嘘を申立てられたりすると、窓口を守る人の心も暗くなり、善良な人にも辛く當るやうになる。これに反して、外に立つ人が感謝と真心をもつて接して來ると、内に在る人の心も自然にわけて、笑顔と親切を以て人々を遇せざるを得ない。

一方、外に立つ人の側からいふと、窓口にいる人の態度一つで、大へんな影響を受ける。こちらよ一ビシヤリと閉められでもすると、取付く島もなく、世をはかなみ、人を恨む心持になる。こちらは純真なのに悪人扱ひにでもされると、無性に腹立たしくて、窓に在る人のみならず、その機關全體が憎らしくなる。これに反して笑顔で受け容れられ、やさしく導かれると、心も自づとなごやかになり、戦ひ抜いて、この大みいさを勝抜かうといふ心持はいよ／＼昂まる。

世の中を明るくするのは窓口にいる者の責任である。窓口にいる人は、その責任の重いことを考へ、出來るだけ人にやさしく親切にしてやることを望ましいし、窓口の外に立つ人も、内なる人の勞苦を察して、愛とへりくだりとを以て對する心掛けが大切である。

もつとも肝腎なことは、窓口を通して國民に接觸する役所や團體の首腦者は常に窓口のことを考へ、これがために心をくたくたことであり、また窓口には相當な人物を配置することである。窓口には最も身分能力低き者をおき、中に入る程えらい人が坐つてゐるといふ事務運営の考へ方は、この際批判されるべきものである。

人の心持のわかる人を窓口に掲げよ。これ世の中を明るくする所以である。



# 動く大陸新戦局

## 大本營陸軍報道部

### 河南作戰の成果

長くも 大元帥陛下には、五月二十七日、參謀總長を召させられ、支那派遣軍總司令官に對し左の勅語を賜はつた。

### 勅語

河南方面ニ作戰セル軍ノ將兵ハ勇  
戰奮闘兵克ク衆敵ヲ擊退シテ神  
速ニ作戰目的ヲ達成シ以テ全局ノ  
作戰ニ寄與セリ  
朕深ク之ヲ嘉尚ス

洵に畏き極みである。  
河南作戰の成果中、まづ特筆するべきは、將軍中屈指の精銳たる河南省防

衛軍に徹底的打撃を加へ得たことである。

河南省一帯は、將軍の九戰區に區分せられてゐる防衛陣の第一戰區に含まれてゐて、蒋介石はその重要度から最も信頼する湯恩伯麾下の部隊をもつて、第一戰區防衛の中核たらしめてゐたのである。しかるにこの軍は、今次河南作戰において、完膚なきまでに叩きのめされ、五月末日までに判明してゐる我が軍の擧げた戦果は、だいたい次の通りである。

遺棄死體 約四万 俘 虜 約二万  
幽獲兵器 火炮(連射砲、野山砲、重砲等)約百十門、迫撃砲 約百七十門、銃  
彈、彈藥、自動車等 大量、地上兵器に

よる撃退 十八

しかし、投降者はいまなほ續出してゐるし、我が軍が幽獲した兵器のほかに、我が破壊を受け、または自ら破壊潰滅し去つた兵器も大量に上ると推測されるので、敵の受けた損害はこの戦果を遙かに超えてゐる見込である。

第一戰區中、今回の作戰に直接關係のあつた方面に配置された兵力は、三十三ヶ師とみられてゐるが、そのうち二十一ヶ師と汜東挺身隊が潰滅、或ひは殲滅的打撃を受けてゐることは確實である。

この第一戰區に所在した軍は、蔣が最も信頼してゐた部隊であつただけに、その崩壊は常に蔣自體の自信を動搖せしめたばかりでなく、蔣軍全般の防衛陣に破綻を來さしめ、その抗戦力の低下に拍車をかけるもので、米英をして痛く失望せしめた事實は、敵新聞雜誌等の論調にも明瞭に看取せらるものである。

これに加ふるに、我が航空作戦による在支米空軍の損害も甚大である。またこの作戦の結果、京漢線打通といふ歴史的偉業が完成された。

これまで北支と中支との文化・経済の交流は、陸上においては主として津浦線一本だけに依存してゐたのであるが、新たに京漢線といふ大動脈がこの役割に参加し得ることになった。この北支と中支を緊密に結合する紐帯の強化は、北支と中支の文化・経済の交流をいよ／＼活潑ならしめ、これにより我が方が軍事上、政治上、享受する利益はけだし少くない。

いつものことながら河南作戦全體を通じて特にみられるものは、我が軍があくまで秋毫も犯さざる皇軍たるの眞姿を示し、民衆を敵とせざる精神に透徹してゐることである。洛陽の陥落が遅れたことについて現地部隊長は、次ぎの如き談話を發表してゐるが、以てその一端を知り得るであらう。



「河南作戦で洛陽の陥落がなせられたか。わが軍は洛陽を過ぎてすでに著るしく西に進出し、洛陽はぼつんと取残された形になつてゐた。人々は奇異に感じたであらう。これについて説明を加へる必要がある。即ち、我が軍は何時

の回復は極めて迅速であつて、昨日の戦場は皇軍占領當日から既に安居樂業の巷と變つてゐる。民衆にも日本軍に對する憎悪感などはあまりみられず、むしろ將來これまで重慶側がとり來つた強制徴兵や、苛斂誅求から逃れ得ることに對する安堵感が漲つてゐる。

我が強力なる傘下に入ることに、より、古來、中原と稱された豊饒なる河南の地は、ますます／＼経済的に重要な役割を演ずるであらうし、幾度か中華の首都となり、貴重なる史蹟をとどむる洛陽は、永久にその文化的價値を保持し得るであらう。

### 中支新作戦

中支方面の我が部隊は五月二十七日、洞庭湖南側地區から重慶第六戰區及び第九戰區軍に對し進故作戦を開始し、所在の敵を撃破しつゝ進撃中である。河南作戦の創痕深刻なる蔣介石に對

し、息もつかせぬ今次我が軍の猛攻は、蔣にとつて救ひ難い痛手となるであらう。

第六戰區は、揚子江を挟んで洞庭湖西方の湖南省西北部地區と湖北省西南部地區にまたがる戰區で、陳誠の訓練した中央直系の四十ヶ師が配されてゐる。長官は昨春孫連仲が陳誠に代り、昨年末の我が常德戰で手痛い損害を受けた。

第九戰區は、湖南省中南部、江西省西部地區を防衛する戰區で、薛岳がその司令である。これまで幾度か我が進攻を受け、その度に甚大な損害を受けた。約三十ヶ師が配されてゐる。

我が航空作戦は依然活潑に實施され、五月二十九日衡陽を、三十日に衡陽と梁山を攻撃し、撃破炎上七十機に近しい大戦果を挙げた。かくの如く在支米空軍は、次ぎ／＼に我が荒鷲の好餌となつてゐる。

### ビルマ作戦の現況

インパール攻略作戦は四月中旬頃、我が軍がコヒマインパール道とインパールシレチア道を遮断したことにより、マニプール盆地にある英印第四軍團を全く突の中の鼠たらしめたのであるが、爾後戦況は必ずしも迅速な進捗をみせてゐない。しかし我が軍は歩



包圍 網内の 敵は、 今やそ の唯一 の補給 手段たる 空中 補給 も、天 候の悪 化と共に意の如くならず、まさに釜中の魚たらんとし、その窮状は各方面に顯著である。これがため、敵はわが包圍環の突破を企圖し、しば／＼／＼コヒマ方面に強烈なる逆襲を實施してゐるが、我が第一線部隊は、敵機跳躍下、よく不自由な生活を忍んで常にこれを撃退してゐる。

また敵はバレル、ピシエンプール周邊に半永久陣地を構築し、戦車、装甲車、重砲等を作り出し、必死の防禦をしてゐるが、これに對しても我が軍は連日猛攻を加へ、ジリ／＼と敵の堅陣地帯に滲透してゐる。この方面も我が軍の補給容易ならず、敵機また優勢であるが、かくの如く敵を撃倒してゐる。所以のものは、實に我が第一線將兵が精銳であるからだ。

カーサ周邊地區に降下し、我が後方の擾亂を圖つた敵の空挺部隊は、その兵力相當量に上つたにもかゝらず、我が果敢な攻撃とマリア患者積出の

ためを戦力著しく低下し、有力なるその根拠地マウルも放棄してインドウギ湖東方地区に撤退し、引続き我が猛進を受けてゐる。

さらに五月中旬、ミイキナ方面に敵地上部隊と米空軍部隊が降下侵入して来たので、同地周辺地区の我が部隊はこれを包圍攻撃中である。

怒江正面重慶軍も近時やうやく蠢動を開始し、一部は怒江を渡河、ミイキナ方面と連絡を企圖したが、我が軍はこれを高黎貢山系以東の地区において捕撃破中である。

かくの如き敵のミイキナ方面への關心は、一にレド公路啓開の熱望に基因するのである。即ち、我が強力なる布陣のためレド、モガウン、ミイキナ、バーモ、舊ビルマルト道の啓開が不可能なる今日、最小限モガウン、ミイキナ地区をその手中に収め、以てモガウン、ミイキナ、セク(ミイキナ東北方約五十キロ)、ピモー、保出道を啓開し、重慶に輸血

せんとするのであらう。この輸血路啓開の執拗なる敵の意圖には、今やたゞ單なる重慶戦力の維持培養のみならず、實に在支米空軍の強化により、我が本土空襲を敢へてせんとする不逞なる野望が潜んでゐるとみられる。

従つてこの補給路啓開に關する執着は、米蔣側が英側にくらべて遙かに大なるものがあり、この結果はビルマ作戦に對するスチルウェルの代表する米蔣軍の態度と、マウントバッテンの代表する英軍の遣り方とに根本的に差異を來すに至つた。即ち英側にとつてビルマ作戦は、あくまでインド防衛が主體であり、レド公路啓開に關しては必ずしも米蔣側が考へてゐるやうに第一義のものとはしてゐないやうである。

ミイキナ所在の重慶軍に對し、英空軍が天候不良を口實に空中補給を躊躇してゐるなどのことが報せられてゐるのは、この邊の事情をよく物語つてゐるものである。しかしながら、例

の米軍追隨の英側のやり方からみて、結局のところマウントバッテンは、スチルウェルのレド公路啓開を主眼とする作戦方針に従はざるを得ないだらうとみられてゐる。

ビルマ作戦が實施されてゐる地方は、各地区によつて多少の差異はあるが、だいたい五、六月頃から漸く雨季に入り、十一月頃まで続く。雨季のため受ける作戦上の制約は、彼我ともに同様と思はれるが、今年度雨季の始まるまでに何とかしてレド公路を啓開したいとの彼等の熱願は、我が軍の常に機を嗣する神機鬼略の前にまたもや泡沫の如く消え去つた。

なほこの方面の我が作戦においては、インド義勇軍が常に第一線にあつて我が軍に密接に協力してゐるだけではない、ビルマ大衆もまた戦勝による多大の犠牲にもかかわらず献身的助力を行つてゐる。かくて大東亞民族十億の黎明は近いのである。



### 戦時農園問答

これは、戦時農園の手引(農林省編)に於て、戦時農園に於ける問答をまとめたものである。

かぼちやの葉を喰ふ、黄色い一ミリ

問 かぼちやの葉を喰ふ、黄色い一ミリ、願くらの飛ぶ虫の駆除法と虫の名を教へて下さい。見つけ次第捕殺しますが、飛ぶのでなく、捕りつくせません。(東京・高橋)

答 瓜守でせう。朝早くや曇つてゐる時は飛び立ちませんから樂に捕れませう。

#### 大豆心喰虫の防除法

問 よく乾く土地約十坪に大豆を播きました。ところ、木もよく育ち實も溜山つきでしたが、どういふわけか虫入りが多く、大豆になつたのは十粒ほどでした。この虫を除く方法はないものでせうか。(東京・杉本)

答 大豆の心喰虫は地方々々で、その

發生する時期を考へ、作る種類、播き時によつて、これを避けるやうにします。その一つの方法としては、ごく早生の種類、例へば袖振、黒魁等を選んで、なるべく早く(四月上旬)播くか、いつそ晩生の種類をやゝ遅れて播くやうにします。また、葉に毛のない裸大豆は比較的この害が少く、たうもろこしと混作するのもよい方法です。なほ詳しいことは最寄の農事試験場や農業會に問合せ下さい。

#### 蟻の害

問 蟻が多いので困つてゐます。蟻は空地利用に有害でせうか、無害でせうか。(東京・杉本)

答 蟻に蟻が巢を作るとそこには何も作れません。これを駆除するには、青酸カリ二、四匁を水一斗に溶かして巢の中に注ぐとよいが、これは毒薬なので一般には使用が困難と思ひます。そこでその代りに鐵屑、古釘等を水につけておいて、その赤錆色の液を使ひます。

なほ蟻は作物にたかつても直接作物を害することはありませんが、瓜類や茄子、トマト等の害をする蚜虫の媒介をします。つまり蟻が害をするのではなく蚜虫の害を助けるのです。

#### 草木灰の使ひ方

問 手引では草木灰と堆肥を混用して撒く支へないやうにありますが、人によると混用してはいけないといはれますが、この點は如何でせうか。(東京・杉本)

答 草木灰と他の肥料を混用してはいけないといふのは、その中のアムモニアや燐酸といふやうな、水に溶けて、すぐ作物に效く成分が、灰と化合して、水に溶けないやうになつたり、發散したりするからで、堆肥の中にもアムモニアがありますが、堆肥は有機體といつて、まだ分解してゐない成分が主です。下肥等と比べてそれほど心配はありません。なほ前に述べたやう

に、すぐ土に鋤込んでしまへば差支へありません。

干鰯の頭を肥料にするには

問 干鰯の頭を肥料に使ひますのに、塩気があつてもよいでせうか。また、土へ

埋めておいてから用ひた方がよいといふ説もありますが、如何でせうか。  
(秋子市・一語書)

答 たくさんやる場合ですと、塩鱈の塩のからいものは一度水に漬けて、塩抜きをしてからやる必要があります。水の中に入れておき、または土の中に埋めてもいづれでもよく、腐らせてからやるやうにします。  
(回答 農 商 省)

## 新通常服の制定

### 一 國民服も宮中用の禮服に

これまで宮中における儀仗式等に参列する場合の男子の通常服は、フロックコート又はモーニングコートと定められておりましたが、昨今では資材難や生産制限のため、新任者等が新調しようとしても事實上困難となりましたので、今回宮内省では、これに代る新通常服を制定する一方、國民服禮装(地質白色布のものを除く)も通常服の代用として認めることになり、去る五月十二日付の官報で皇令を以て公布され、即日實行されることになりました。

地質や服飾を用ひ、しかも布地が節約できるやうに工夫されてをり、上衣と袴(ズボン)の制式と、地色は深黒または深紺色の國民服乙種型を採用し、帽子は國民服の帽子の代りに同色の軍帽型のものを用ひ、國民服の儀仗式の代りに新規に制定された肩章と飾緒を使ふことになりました。

この新通常服は、今後は官吏は勿論、一般國民が宮中において、または宮中以外においても、宮中關係の行事の場合には、フロックコートまたはモーニングコートと同様に着用できることになったのです。しかしながら、新通常服が制定された趣

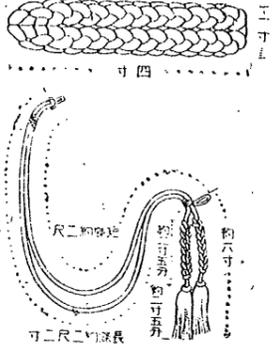
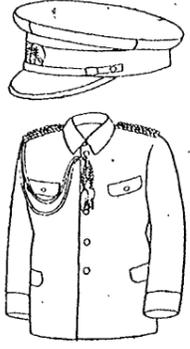
執られた措置であるから、これまで着用してゐたフロックコートまたはモーニングコートが使用に堪へる限りは、宮中用の禮服として、使用せられるべきはいふまでもないことであつて、決して新通常服をおざわざ新調して着るやうにとの意味ではないのですから、くれぐれも誤解のないやうに願ひたいのです。

一方、大東亞戰爭中、國民服禮装が宮中用の禮服として取入れられたのは、禮服資料が少い今日、服一着、儀仗章一聯でも、新調を節約すべきであるといふ理由からであつて、今後は國民服禮装(甲種、乙種共、但し上衣及び袴は共色)は通常服に代用できることとなり、また國民服儀仗章も新通常服の飾緒に代用できることになったのです。但し、これ等の場合、國民服禮装は、必ず立折襟とする等、勅定の制式を厳守されたいのです。

たゞ特別に儀容を整へる必要がある朝儀の場合(参賀記帳の場合を除く)と、宮中における拜謁、御陪食、賜餐の場合だけに限

つては、國民服禮装にも、新通常服の肩章を附ければなりません。

要するに、大東亞戰爭下、宮中に参内する男子の服装は、次の要領によることにな



つたわけですが、  
一、参賀典、諸儀式に参列の場合及び拜謁、御陪食等の場合には、フロックコート、

モーニングコート、從來差許されてゐる制服、新制式通常服(深黒または深紺色國民服乙種型に所定の肩章、飾緒及び帽子をつける)、または國民服禮装(甲種型、乙種型共、但し上衣及び袴は共色とするが、白色地のものを除く。ほかに所定の肩章をつける)。

二、参賀その他の記帳、賢所における式外午後参拜その他諸、以外の場合には、フロックコート、モーニングコート、從來差許されてゐる制服、勅令で定められた制服(但しフロックコートまたはモーニングコートを着用するを例とする場合に着用すべきもの)、新制式通常服(前記するところと同じ)または國民服禮装(甲種型、乙種型共、肩章をつける必要はない)なほ、新通常服には、佩用に關する規定に従つて、宮内大臣の定めるところによつて勲章、記章、褒章を佩用することができまふ。また國民服禮装の場合、防空警報發令時に限つて脚絆をつけてもよいことになつてゐます。

旨は、フロックコート又はモーニングコートの新調の困難な實情に即應するため特に(別表)

手	靴	袴		衣		上	地質
		飾緒	肩章	制式	制式		
黒革製靴	地質黒革、白色とす	地質は深黒製靴とす。四の如し。	徑三分の九打古式(深紺色)製靴とす。寸法は古式に準じ、二條を以てし、下部を各頸狀とし、下部に腰を附す。寸法は古式に準じ、四の如し。	徑三分の九打古式(深紺色)製靴とす。寸法は古式に準じ、二條を以てし、下部を各頸狀とし、下部に腰を附す。寸法は古式に準じ、四の如し。	徑三分の九打古式(深紺色)製靴とす。寸法は古式に準じ、二條を以てし、下部を各頸狀とし、下部に腰を附す。寸法は古式に準じ、四の如し。	深黒製靴	深黒製靴

# 最近の米英ソ關係

## 漸く深む敵陣營の惱み

第二戦線五月開設に遂に實現しなかつたが、ドイツ本土並びに占領地に對する米英空軍の攻撃は連日熾烈を極め、ドイツ大本營は上陸作戦の準備と解される。發表してをり、南伊戦線においては五月十一日以来、米英軍は俄然ローマ奪取をめざす大規模な新攻勢を開始し、これを激撃するドイツ軍との間に激戦を展開しつつあり、また、東部戦線においても赤軍は再び新攻勢に出る模様であると傳へられてをり、歐洲の情勢は依然として第二戦線切迫の氣構への下に緊張を續けてゐる。

さらに、第二戦線の作戦展開と懸聯して、米英ソ三國の政治攻勢乃至外交工作はますます活発となり、米英のトルコ、スペイン、ポルトガル、スウェーデン等の中立諸國に對する緊迫はいよいよ前烈を加へ、ブルガリア、ルーマニア、ハンガリー、フィンランド等の樞軸諸國に對する神懸戰も日を遠うて深刻化しつつあり、これまた戦局に劣らぬ緊迫せる情勢を呈してゐる。

なほ、東部においては、米軍を主體とする對日進攻作戦が、太平洋の北方中部、西南の三方より進められつつあるのと相呼應して、インド・ビルマ國境方面においては、ビルマ奪回並びに援蔭路線の開設をめざす英印軍の反撃が續けられてをり、各戦線共、

に日夜を分たぬ激戦が展開され、事態は極めて重大である。

かくの如き歐洲、東部、東西兩戦線の戦局の推移に處して、米英ソ三國は、その各、獨自の立場と利害とにおいて、それらの作戦を計畫し、政治工作を企圖してゐるので、互並びに對樞軸戰争における共同戦線を結成してゐるもの、第二戦線問題をはじめ、歐洲、東部戦線における共同戦線を結成してゐるもの、第二戦線問題を異にし、また、ポロランド國境問題、ユーゴスラビアにおけるチトー政権を始め、ド・ゴールその他の傀儡政権を標的とする外交工作において、種々なる紛争對立を生じつつあり、さらに戦後における各種の企圖に發する政治攻勢は、中歐、バルカン、地中海、北阿、西亞等の各地において幾多の深刻なる相絶を呈してゐるのである。

のみならず對獨、對日共同戦線において全く同一なる立場にあるべき米英の間においても、目前の作戦計畫において、また外交工作において、さらに戦後計畫において深刻なる對立相絶が存在してゐるのであり、米英ソ三國關係乃至米英對ソの關係、さらに米對英の關係は幾多の懸問題が發生

しつつあり、ためにしばしば「反樞軸陣營の動搖不安が傳へられてをり、この三國關係は極めて複雑微妙である。

## 自主積極的なソ聯

ソ聯がドイツの打倒を唯一の目的とし、東部戦線に専念してゐるの比して、米英は日獨兩國に挑戦し、歐亞兩面作戦を計畫してゐる點において、ソ聯と米英との間に各種の點において對立を生ずるのは免れ得ないことである。即ち、米英ソ三國關係における第一の問題は、米英對ソ聯の關係である。

しかし、この三國關係において最も特異の點は、ソ聯が直接對獨戰争遂行に對しては米英の援助を要求しつつあるが、その政治的、外交的工作においては、全然獨自の立場を堅持し、あくまでも自主的なる政策を進行しつつありとみられるところにある。

即ち、獨ソ開戦以來、ソ聯は米英より武器並びに食糧、原料その他あらゆる戰爭資料の供給を受けつつあるが、直接東部戦線における米英軍の協力を拒否すると共に、強硬に第二戦線の開設を要求してゐる。

方、ポーランド問題に對しては斷平として米英の調停斡旋を拒絶するの強硬態度を示し、また、チェッコビ命政權との相互援助協定を締結して中歐工作を進め、トルコに電報を加へ、ユーゴスラビアにおけるチトー政権を強化し、地中海委員會に介入し、北阿のフランス解放委員會に勢力を浸透せしめ、或ひはエジプトとの國交を樹立し、アラビヤ回教諸國に工作を開始する等、バルカンより地中海を越えて北阿、西亞に及ぶ廣汎なる地域に對して、極めて果敢なる政治攻勢を展開し、米英を驚愕たらしめてゐるにたとまらず、カサブランカ會議に出席を拒絶し、反樞軸労働會議に参加せざる等、全く獨自の政治攻勢、外交工作を推進せしめてゐるのである。

米英ソ三國間における最大の問題は第二戦線の開設であるが、米英が躊躇しつつある間にソ聯の督促は急調を加へ、ブラウウ紙、戰爭と労働階級誌等、政府の言論機關は筆を揃へて第二戦線開設の機到れりと強調してゐるのである。

かうしたソ聯の督促には、米英も大いに困却と焦慮を感じてゐるのであるが、恰も、對ソ政策を重要な議題として取り上げ

## ソ聯の進出に慄く米英

第二戦線問題にも増して米英を焦慮させてゐるものは、ソ聯の政治攻勢である。

即ち、昨年の東部戦線における赤軍の反撃成功と相俟つて開始された政治攻勢は、まづポーランド國境問題にその鋭鋒を現はし、バドリオの降伏によつて生じた地中海及びバルカンの情勢の變化に乗じ、バルカン

より地中海を挟んで北阿に亘りその勢力の擴大を圖り、さらに昨年末にはチェッコ亡命政権との相互協定によつて中欧政策の基礎を確立せんと企圖せることは既に周知の如くであるが、この政治攻勢は本年に入るや、東部戦線における赤軍の新攻勢の開始に伴ひ、ますますその勢ひを加へ來つたのである。

即ち、東部戦線南部における赤軍の猛進撃は、四月二日をもつて遂にルーマニア國境を突破したのであるが、この時、モロトフ外務人民委員は『ソ聯はルーマニアに對して何等の領土的野心乃至社會組織の變革を要求せず』との意味深長なる聲明を發表し、さらに中部方面の赤軍が舊チェッコ國境に達するや、チェッコ亡命政権との間に、赤軍が舊チェッコ領土内に入進した際には、一時舊チェッコ領を赤軍の支配下に置く旨の新協定を締結したのである。

しかも、米英側においても、ノールウェー、オランダ、ベルギーの各國と右と同様な協定を締結するや、ソ聯はノールウェーとの協定に参加して同國に對する發言權を獲得し、ベルギー及びオランダとの協定には参加せず、これ等の諸國に對する米英と

異なる獨自の立場を明瞭に表明したことは各方面の注目を惹いたのである。

### ソ聯バドリオ政権を承認

なほ、ソ聯はユーゴスラビアにおけるチトー政権の強化に努力し、遂に英國をしてミシイロウィッチ支持を放棄せしめ、チトーをしてユーゴスラビアにおける唯一の反獨裁政権として米英の支持を獲得したのみならず、その正式承認を要求しつゝあるが、一方三月十三日を以て、突如バドリオ政権を承認して、米英を狼狽せしめた。次いで米英軍の鹵獲せるイタリア艦艇の山分けを要求し、成功したるにとどまらず、地中海沿岸における軍事基地を要求したとの説も傳へられてゐる。

その他、シリア及びレバノンに外交代表の派遣、エルサレムに總領事館の開設、イラクとの外交關係設定、ヘチアスに對する同代表の派遣、及び昨年國交を開始せるエチオピアにも外交代表を赴任せしめた等の事實は、昨年のエジプトとの國交回復以來の一連の政策を示すもので、即ち、全ア

ラビア諸國との全面的國交開設により回教國への進出を圖らんとする工作の進展を示すものとして、かねてよりこれ等の諸國を自らの勢力範圍となしてゐる英國及び英國の遺產相續を企圖して頻りに北阿及び西阿に急激なる勢力の扶植に努力しつゝある米國が、重大關心を以てソ聯の工作を警戒してゐるのである。

### 米英の對ソ謀略

獨ソ開戦に際してルーズヴェルト及びチャーチルが、對ソ援助に關する連名の書簡をスターリン議長に送り、米英ソ三國會議を提唱したにも拘はらず、二年に亘つてその實施をみるに至らず、やうやくにして昨年十二月のテヘラン會議において三巨頭の會議が行はれた経緯は、三國關係の眞情の一端を示したものであるが、去る四月二十日より米國のフィラデルフィアにおいて開催された反獨裁労働會議に對してソ聯政府は、去る昭和十四年のソ芬戰爭に際し、國際聯盟がソ聯を除名したるが故に關係なしとの理由によつて、代表者の派遣を拒絶したのである。

これ等の事實もソ聯の獨自なる外交政策を表明するものであり、上述の政治攻勢によつて表現されるものの、北はフィンランドより、中欧ポーランド及びチェッコを経て、バルカンのルーマニア、ブルガリア、ユーゴスラビア、さらにイタリアより地中海を隔てて北阿より西阿に及ぶ廣大なるソ聯の勢力圍建設計畫が想像されるものとし



て、米英は大なる脅威を感じ、これに對抗するところのあらゆる工作を試みつゝあることは、以上の各地域において、種々なる三國の對立相違が傳へられてゐることによつて窺はれるのである。

例へば、最近、ロンドンのデーリー・メール及びデーリー・ヘラルドの兩紙にカイロ電報としてソ聯のバルカン社會主義ソヴェエト共和國建設計畫なるものが掲げられ、イスタンブール及びダーダネルス海峡を含む自治共和國を始め、ギリシヤ、ブルガリア、マケドニア、セルヴィア等の諸國がこれに参加するものであるとの内容が記されてをり、各方面の注目をひいたのであるが、これは恐らくトルコを始め、それ等の諸國とソ聯との離間を狙つたところの英國の謀略宣傳であらうとみられてをり、その他にもかうした對ソ謀略は米英いづれにおいてもしばしば現はれるのである。

### 英の米・ソに對する不信

ソ聯との利害關係において、歐洲の一部として存在する英國と、歐洲外にあつて全米大陸を支配し全歐洲に對抗しようとする米國とは大きな差異があり、これが對ソ政策において、米英の對立を來してゐる根本原因である。

英國においては昨年末頃から戦後問題等と關聯して英國外交政策の檢討が盛んに行はれてゐるが、その論議の中心をなしてゐるものはソ聯の政治攻勢である。

即ち、英帝國の保全のためには、世界的には米國と提携し、歐洲の平和維持にはソ聯と協力しなければならぬといふ主張と、全自治領の結束を強固にして米國に對抗すると共に、英佛を中心とした西歐諸國を一丸とした聯盟の結束を以て、ソ聯に對抗すべしとの二つの主張が對立してゐるのであり、後者の主張はその根柢において米ソに對する不信と不安とから出發した議論である。

今次の大戦勃發以來初めての英自治領  
首相會議は、英國の運命を賭する第二職權  
の開發を控へて、全自治領の結束と協力と  
を強化する方針を檢討することを目的とし  
たものであるが、檢討された外交政策の中  
心問題は、各特異の立場に立つてゐるカ  
ナダ、南ア及びニュージラランドの  
關係を如何にして米英の提携を阻害せず  
英米國のために協力せしむべきかといふこ  
とと、ソ聯の政治政勢に對して如何なる對  
抗策をとるべきかといふ二つの點にあつた  
とみられてゐるのである。

この二つの問題こそは、英國にとつての  
死活の悩みであり、同時に、英國と米、ソ  
との深刻なる對立關係の根本をなすもの  
で、大きくみれば、米英ソ三國關係の中心  
問題でもありといひ得るのである。

なほ、五月二十四日、チャーチル首相は  
議下院において外交問題の報告演説を行つ  
たが、その中で、トルコとの關係について  
は、二月乃至三月頃參戰するものと期待さ  
れ、また少くとも空軍基地を提供すると豫  
想されたが、今日では再武装を放棄しなけ  
ればならぬと述べ、パドリオ政権について  
はその強化擴大の必要を説き、スペインに

對してはその反獨裁に對して絶對友好的  
であると力説し、ユーゴ問題については、  
チャーチルの支持を強調したのであつた  
が、自治領首相會議に關しては、自治領と  
の結束の強化により米ソに對抗し得る諒解  
が成立したことを示唆してゐるにとよま  
つてゐる。このチャーチルの演説によつて  
も、また、米英ソ三國關係の一斑が窺はれ  
るのである。

英ソ關係が歐洲における英米國の興隆に  
關する深刻なる問題であるに比して、英米  
の關係は、世界における英帝國全體の問題  
であり、或る意味において英國にとつては、  
一層緊急の問題である。

### 米の英に對する横暴

米國が英領地帝國の遺産相續を狙ふ野  
心を通しうしてゐることは周知の事實であ  
り、それがために英國國民は内心には深刻な  
る對米憎惡を燃やしてゐるのであるが、目  
下の戰爭遂行にはすべてが米國の援助を仰  
がなければならぬ境にあるので、何で  
もこの戰爭が終るまでは耐へ忍んでゐる  
のである。

貸與法による援助の代償として、西半球に  
ある英國の軍事基地を讓渡すべしとの主張  
が行はれてゐるに對して、英國政府が軍  
事基地を讓渡しないと拒絶の回答を明らか  
にしたものとみられてゐるのである。

### 米英、東亞戰線でも 泥 試 合

さらに戰爭遂行に關する問題は、歐洲戰  
線と太平洋戰線との優先問題であり、この  
問題は、昨年八月のケベック會議において  
チャーチルが妥協して、東亞二正面作戰を  
同時に遂行するといふことで解決したので  
あつたが、本年に入り、米軍の太平洋進攻  
作戰と相呼應して東亞を襲撃せんとする印  
横作戰に對しても、東南アジア軍總司令官  
のマウンドバットンとインド・ビルマ派遣米  
軍司令官スチルウェルとの間に作戰に對す  
る意見の齟齬が生じ、米國內にマウント  
バットン無能の非難が起り、英國側でもス  
チルウェルの無謀を攻撃して、混戦を演ず  
るの事態を演じ、東亞作戰に對する兩國の  
對立を暴露してゐるのである。

以上の如き米英關係を調整する目的を以  
て開かれたのが、米英蘇官ステューニア

スの渡英によつて開かれた四月七日より二  
十六日に亘る四月會議であるが、この會議  
の結果は、英國新聞が「意見の一致をみな  
かつたのみならず、かへつてその關係を一  
層深められたとみるべきである」と批評し  
てゐるのであるから、米英の對立が如何に  
深刻であるかが想像されるであらう。

なほ、右米英會議と前後して、米國務長  
官ハルは、米國政府は歐洲問題について反  
獨裁諸國と協力を遂げる必要がある」と三  
國會議を示唆してゐるが、最近に至り、遠  
からず重慶を含め四國會議が行はれる旨が  
米國務省當局から發表されてゐるのであ  
り、米英ソ三國間にはなほ調整を必要とす  
る問題が山積してをり、しかも、なほ事態  
の發展に伴ひ困難な問題が續發する傾  
向にあり、三國關係の前途の頗る多難  
なるを想はせるのである。

しかしながら、この三國も、ドイツ  
に對する戰爭の遂行といふ立場におい  
ては全く一致してゐるのであり、また、  
米英兩國は日獨獨裁に對する戰爭の遂  
行においては完全なる共同戦線を結成  
してゐるのであるから、この限度にお  
いて各國間の對立相絶を解決すべく努  
力してゐることは明らかである。従つ

米國の英國に對する横暴さは最近に至つ  
ていよいよ烈しくなつて來た。スペインに  
對する強硬政策、スウェーデンに對する球  
承軸の對獨禁輸、エールに對する中立放棄  
強要、イタリヤ艦艇のソ聯への分讓等の外  
交工作に對しては、英國外交は全く米國の  
意圖のまゝに追隨したのであつた。それが  
ために英國政界ではイーデン外相の辭職問  
題までが持ち上つたのである。

その他、西亞及びエジプトにおける石油  
利權の爭奪の如きは、大東亞戰爭によつて  
東亞における石油圈を喪失した英國にとつ  
て、米國の侵入は非常な脅威である。去る  
四月十六日から五月三日に亘つてワシント  
ンにおいて開かれた米英石油會議は、結同  
航空路問題と同様、英國の譲歩により解決  
される序曲といひ得るであらう。

さらに、五月初旬、南ア及びニュージラ  
ンド政府が、現在米國の軍事基地が建設さ  
れてゐる英國自治領各地は、戰爭後におい  
てこれを米國の租借乃至讓渡するものに  
なるといふ共同聲明を發表し、さらに本國に  
おいてビヴァブルク國銀尙書が下院に  
おいて、英政府は右聲明を全面的に支持す  
る旨を聲明したことは、米國において武器

て、これ等三國の對立相絶が如何に急激を傳  
へられたとしても、恐らく三國共にその共同  
の目的を放棄し、三國同盟の決裂を遂げて  
までの事態に發展するが如きことは想像さ  
れないのであるが、その範圍における抗爭  
であるとしても、これがため職局乃至政治  
情勢の推移に種々なる影響を及ぼすべきこ  
とは、當然あり得ることであり、特に現下  
の第二職權問題を懸る三國の動向は、第二  
職權の性格並びに大戦の歸趨を示唆するも  
のとして、十分なる分析が加へられなけれ  
ばならぬのである。(外務省)

日	事	出典
八日	米の強硬を云は、強硬を強し、	藤田直助
九日	此所が絶命の地にて、只今國を離	山田兵衛
十日	日暮一たび移れば千載再來の令樂し	徳久蘭山
十一日	直し、強の中に生れれば故にされども	山田直助
十二日	強硬の理を知りたるのみにては其	山田直助
十三日	士道にはあらず、弱かに成すべし	山田直助
十四日	費用のことなり、弱かに成すべし	山田直助
十五日	弱さを云はれば弱工と成ることを	山田直助

